

背景

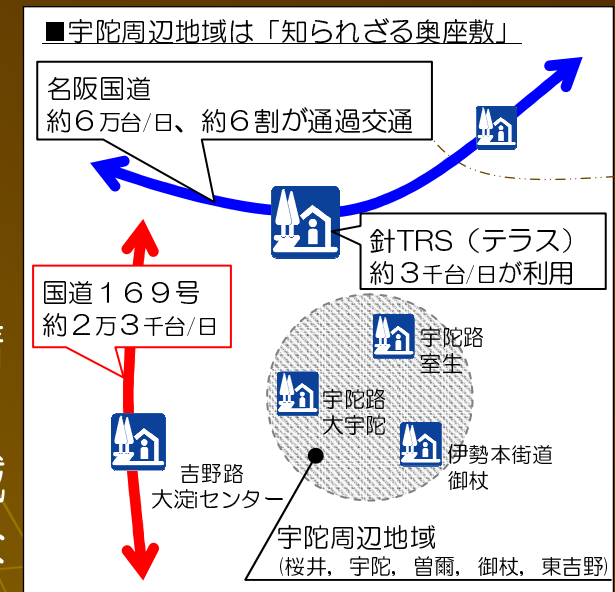
○宇陀地域の観光の現状

鉄道網が未発達で、もっぱら車移動が中心であるにもかかわらず、観光PRは電車利用を前提としたものが多い。

○戦略的な情報発信

平城1300年祭を契機として、来訪者に観光情報をより効果的に発信する方法が求められる。

そのためには、個々の「道の駅」における地域情報発信力の強化と各「道の駅」間での効果的な連携が必要。



- 名阪国道針TRSは1日の通過交通量は約6万台である。
- 宇陀地域は、針TRSから30分の距離にあり、以外と近い。
- この道路利用者へ情報を提供し、宇陀地域へ誘導する。

実施方針

- 宇陀周辺地域とのネットワーク拠点となる名阪国道「道の駅」針TRS(テラス)及び大淀iセンターを情報発信拠点として整備。
- 地域が取組む魅了向上策と、「道の駅」の情報発信力との融合により、県外ドライバーに対する魅力的な周遊プランなどを提供。
- より効果を高めるため、雑誌等による発信情報とも連携するとともに隣接県および宇陀周辺地域内の「道の駅」間においても、「リレー式」に情報を発信。
- 取組みを評価分析したうえで、他の地域にも展開。